国立病院機構　西新潟中央病院

── 地域とともに、日々をともに。「今」を伝えるもの語り ──

Care+Nishiniigata Chuo Hospital　2023 June

かれん

vol.
09
2023年
6月



国立病院機構　西新潟中央病院

〒950-2085 新潟県新潟市西区真砂1丁目14番1号　TEL.025-265-3171　FAX.025-231-2831

https://nishiniigata.hosp.go.jp/

message

この春も多くの新人が「チーム西新潟」に加わりました

当院の将来を担い、医療を通して新潟の未来を豊かにする
かけがえのないメンバーです。
この若者たちが医療者（病院勤務者）として成長する姿を見守るのは、
病院長の重要な務めであり、大きな喜びです。
新人とは言え、『西新潟中央病院の使命（ホスピタル・ミッション）』の
① を胸に刻み、日々がんばっていますので、
ぜひご一緒に応援していただけますと幸いです。
よろしくお願いいたします。

西新潟中央病院の使命（ホスピタル・ミッション）

① 専門性が高く安心・安全な医療を実行し、患者さん・ご家族の笑顔に貢献します。
② 地域社会を支えるとともにグローバルな視点も備え持ち、新潟と世界の今に貢献します。
③ 若い医療人の育成にも力を注ぎ、新潟の未来に貢献します。
④ 活発な臨床研究と情報発信を通じて、医学の進歩と知識の普及に貢献します。

※「チーム西新潟」：医師、看護師はじめ当院で働くすべての職員は、一人ひとりが思う存分
その専門性を発揮し、質の高い医療を患者さんにお届けするチームです。

国立病院機構 西新潟中央病院
病院長 大平（おおだいら） 徹郎（てつろう）



かれん

vol.09
Care+Nishiniigata Chuo Hospital
2023 June

かれん（Care+N）とは、ケア（いたわる心）と、
西新潟のNを組み合わせてできた名前です。
優しさと親しみを込めて呼んでもらえるように—。
そんな思いから生まれました。

contents

03
Care+N person interview
徳武 孝允

05
Care+N specialist
臨床工学技士
笠原 淳
山田 健一郎

07
Care+N letters
[てんかん啓発の日「パープルデー」に紫色のアイテムを身に着けて参加]
[自然にふれ、のびのびと過ごす まさご幼稚園の子どもたち]
[4月1日、令和5年度の辞令交付式が行われ 新体制でスタートを切りました]

09
information



Care＋n
person
かれんの人々
interview
09

今回「かれんの人々」に登場していただくのは、
当院に来られたばかりの脳神経内科のドクターです。
患者さんはもとより、そのご家族ともじっくりとお話しし、
より良い治療方法を見つけ出していくそう。
どんなことも相談しやすい、穏やかなお人柄が伝わります。

外来、入院中、そして退院後のケアまで。
多職種連携を大切にした体制で患者さんをサポート。

患者さんに寄り添い
少しでも前向きに、
希望の持てる医療を。



脳神経内科医長 徳武（とくたけ） 孝允（たかよし）



この春から脳神経内科を担当。よろしくお願いいたします。

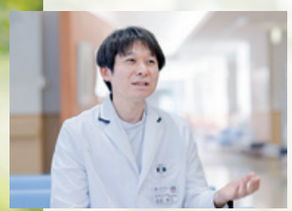
2023年4月、こちらの病院に赴任してきた徳武です。新潟では珍しい名字かもしれませんが、私の地元・長野県では割と多い名前です。新潟大学を卒業し、2年間内科研修医をして脳神経内科に入局。関連病院を経て、最近まで新潟大学病院に勤務していました。新しい職場である当院は、神経変性疾患や呼吸器系の患者さんが多いので、非常に専門性の高い先生方が診ている病院だという印象があります。赴任してまだ間もなく手探りですが、みなさんのお力になれるよう努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

「チーム医療」のサポート体制がしっかり整っている病院です。

神経難病をはじめ、患者さんと長くお付き合いするケースが多いのが当院の特徴。
医師、看護師、リハビリを担当する理学療法士、退院後のケアを考えるソーシャルワーカーなど、多くの医療従事者がひとつになって取り組み、病院から地域、また実際に介護をされる方との連携まで大事に考えているのを感じます。カルテを見ると、とても丁寧に記載されているので、患者さんおひとりおひとりにとってどんな治療やケアがふさわしいか、チーム全員で考えを共有し、対応しているのがよくわかります。

日々学び、新たな情報や治験を活かした前向きな医療を。

私が脳神経内科の医師を目指したのは、教わった先生が素晴らしい方ばかりで、「自分もこういう医師になりたい」と思ったことから。この領域はまだ明らかになっていないことが多い分野でもあるので、研究や新しい治験も含めて、日々研鑽されている先生方が多く、私も見習いたいと思っています。時間をかけて向き合う病気ではありますが、新たな情報や治験などで還元できることを願って、患者さんには希望を持っていただけるよう接することを心がけています。



若き頭脳やAIの登場で盛り上がる将棋界。
感心して見ています。

時間がある時は将棋を観るのが好きで、最近の藤井聡太棋士の活躍などは注目しています。昔は自分でも少しやっていましたが、現在はネットで対局や棋譜を観るだけの「観る将」です（笑）。今はAIがさまざまなことを解析するようになり、将棋の世界も様変わりしました。興味深く観ていきたいですね。

Care＋N
specialist
＝
Report
06

医師や看護師などの医療スタッフとチームを組み、
生命維持監視装置の操作から、点検、保守、管理まで
医療機器に関する業務を一手に行う臨床工学技士。
最新機器の知識はもちろん、治療や薬の知識も必要な
医療の現場に欠かせないプロフェッショナルです。

かれん スペシャリストリポート

臨床工学技士とはどういった職業ですか？

笠原：医療技術者（メディカルスタッフ）の職種の一つです。人工呼吸器や生体情報モニターなどの「生命維持管理装置」を操作することで、病院スタッフをサポートしています。

山田：さまざまな医療機器の点検・保守など、管理も毎日行います。小さなミスが重大な事故につながるので、基本的なチェックほど怠らず、徹底するように心がけています。

笠原：それから、先生や看護師さんからの相談に対し、テクニカルな面での提案を行うこともあります。スタッフと一緒に、困っている患者さんの元に行って状況を確認し、「今、機械がこう示してるので、このようにしたらどうでしょうか」というふうに。

山田：同じ目的に使う機器でもいろんなメーカーやタイプがあるので、「この機器にはこういう機能が付いています」などと説明したり。その患者さんに最適な機器を先生に選んでいただきやすいように、それぞれの特徴や機能性をできるだけ詳しく説明しています。

この業務の難しさ、やりがいはどんなところにありますか？

笠原：医療機器はもちろん、さまざまな病気や薬に対する幅広い知識が必要だということ。勉強することが多くて大変ですが、患者さんの命を救う現場で役立っていると感じることは、大きなやりがいです。

山田：最先端の機器がどんどん出てきて、取り扱う人もその時々で変わっていくため、機器の使い方や管理について、何を聞かれても正しく答えられるようにしておかなければなりません。

笠原：医療機器に関しては、先生や看護師さんが覚えきれないことを補佐するのが私たちの役目。トラブルがあった時もすぐに対応する必要があります。機器の不調や使い方に関する問い合わせの電話は、毎日必ずかかってきますよ。

山田：停電した際に、病棟で管理しているすべての機器を大急ぎでチェックしに回ったことがあります。幸い機器には異常がなく、安心しました。緊急時の対応でスタッフに感謝されたり、機器を使用した患者さんが元気になられた時も、とてもうれしく、やりがいを感じます。

普段から気をつけていることと、これからの目標を教えてください。

笠原：臨床工学技士というと「技術屋」というイメージが強いかもしれませんが、実際には患者さんや他のスタッフたちと直接関わることが多い職業です。そのため、コミュニケーションは特に大切にしています。

山田：スムーズな連携は重要ですよね。私たち臨床工学技士どうしはもちろん、他のスタッフとも個別にやりとりすることが多いので、とにかく伝達は確実に行うようにしています。私たちが管理する機器を、おひとりおひとりの患者さんに安心して使っていただけるよう、今後も努めていきたいです。

笠原：患者さんやスタッフから何を求められているかを見極め、一歩、二歩先までを想定しながら業務にあたりたいと思っています。



命を救うための機器を扱う、
やりがいのある仕事。

臨床工学技士 笠原（かさはら） 淳（あつし）

基本的なチェックほど
怠らずに、入念に行っています。

臨床工学技士 山田（やまだ） 健一郎（けんいちろう）

おしえてください！その技術！
＝
Job description

臨床工学技士の
仕事とは？

01 院内で使う機器の点検・保守を行う医療機器安全管理室。

室内に所狭しと並ぶ医療機器の数々。人工呼吸器や点滴など日常的に使われる機器の点検・保守・管理は、臨床工学技士が毎日ここで行います。機械を使用する際に病棟に運び、使い終わったら不具合がないかすぐに点検。次にいつでも使える状態に準備しておきます。



02 すべての医療機器がきちんと動作するように毎日の点検は注意深く、確実に。

点検作業でいちばん気を配っているのが、機器の動作の正確性。わずかな誤差も許されません。点滴のポンプなら医師が決めた量の薬が正確に投与されるよう設定するなど、厳しい精度が求められます。



03 情報伝達を密にすることで、急なトラブルにも臨機応変に対応。

その機器をいつ、どの病棟で使うか依頼を受け、事前に準備しておくこともあれば、急きょ必要になることも。思わぬトラブルに駆けつけ即対応することも、臨床工学技士にしかできない業務です。



PURPLEDAY

3月26日は
Purple Day
『てんかんをもつ人を
ひとりぼっちにしない』

topics 01

てんかん啓発の日「パープルデー」に紫色のアイテムを身に着けて参加



風船を用意！
準備も楽しい！















てんかんへの誤解・偏見・差別のない社会をめざし、毎年3月に開催されている「パープルデー」では、賛同する人が紫色のものを身に着けて意思を表します。てんかん支援拠点病院である当院でも3月22日から3日間、職員が紫色のTシャツやリボンを着用、飾り付けも施し、第二外来の患者さん、6病棟の入院患者さんへ風船などを配布しました。院内のあちこちで、笑顔で会話するみなさんの姿が見られました。



topics 02

自然にふれ、のびのびと過ごすまさご幼稚園の子どもたち

草花や虫を観察したり、畑で野菜を栽培したり、元気いっぱいの子どもたち。保護者の方々に安心していただけるよう、保育時間や日程・行事など柔軟に対応いたします。ぜひご相談ください。



2月3日節分、保育室に突然赤鬼が現れた！大泣きして逃げ回る子、息をひそめる子、呆然とする子と反応はさまざま。勇気を出して「鬼は外～」と新聞紙ボールを投げ、鬼を退治しました。



卒園したおともだちから寄贈された2組のお雛様。普段は見慣れない十二単に「お洋服、何枚着てるの？」「何を持ってるの？」と子どもたちは興味津々の様子でした。

topics 03

4月1日、令和5年度の辞令交付式が行われ新体制でスタートを切りました

今年度は合計55名の職員が加わり、大平病院長から辞令を受け取りました。交付式の後は新採用者のオリエンテーションが行われ、希望に満ちた第一歩を踏み出しました。







information

外来診療担当医表［2023.6］

［受付時間］8:30〜11:30［休診日］土・日曜日・祝祭日

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	午前（予約制）	大平 徹郎	宮尾 浩美（肺がん外来）	森山 寛史	宮尾 浩美（肺がん外来）	松本 尚也（肺がん外来）
		森山 寛史	桑原 克弘	松本 尚也（肺がん化学療法）	桑原 克弘	木村 夕香
		木村 夕香	松山 菜穂	髙橋 美帆	松山 菜穂	髙橋 美帆
		松山 菜穂（睡眠時無呼吸）		松山 菜穂（睡眠時無呼吸）		
	午後（予約制）		大平 徹郎（睡眠時無呼吸）（再来のみ）		松山 菜穂（禁煙外来）	
呼吸器外科	午前	（手術日）	渡辺 健寛	（手術日）	古泉 貴久	渡辺 健寛
整形外科	午前	藤澤 純一	藤澤 純一	藤澤 純一	（手術日）	榮森 景子
小児整形外科	午後（予約制）	榮森 景子（第2は休み）				榮森 景子
脳神経内科	午前	若杉 尚宏	髙橋 哲哉	徳武 孝允	髙橋 哲哉	長谷川 有香
			黒羽 泰子			齋藤 奈つみ
	午後（予約制）			黒羽 泰子（もの忘れ外来）		脳神経内科担当医（難病相談外来）
機能脳神経外科	午前	福多 真史	（手術日）	福多 真史	増田 浩（再来のみ）	（手術日）
		白水 洋史		伊藤 陽祐	白水 洋史（再来のみ）	
		伊藤 陽祐				
	午後（予約制）				太田 智慶	
てんかん科	午前（予約制）		長谷川 直哉（新患のみ）	長谷川 直哉（再来のみ）	長谷川 直哉（再来のみ）	長谷川 直哉（再来のみ）
	午後（予約制）			齋藤 奈つみ（再来のみ）	長谷川 直哉（再来のみ）	
神経小児科	午前	三浦 雅樹（再来のみ）	遠山 潤（再来のみ）	関 衛順（再来のみ）	遠山 潤	小林 悠
		山田 慧（再来のみ）	小林 悠（再来のみ）		三浦 雅樹	放上 萌美
			藤井 仁美（再来のみ）			山田 慧
	午後（予約制）		遠山 潤（再来のみ）	放上 萌美	遠山 潤（再来のみ）	
		関 衛順（予防接種）	藤井 仁美（予防接種）	関 衛順（予防接種）	山田 慧（予防接種）	放上 萌美（予防接種）
難病リハビリ	9:00〜15:00	小林 彩夏	難病リハビリ担当医	大学医／黒羽	若杉 尚宏	難病リハビリ担当医
リハビリテーション科	第3金曜 午後					木村 慎二

外来受診について

外来診療は初診・再診を問わず、原則として予約制です。事前に予約をお取りください。**予約専用窓口／TEL.025-265-2299**

□翌日以降の予約（平日13:00〜17:00）　□当日の診療希望（平日9:00〜11:00）

※予約なく紹介状をお持ちになりご来院されても、外来の状況で当日受診ができない場合があります。

【診療日程】

□初診・再診受付／8:30〜11:30 ※救急の場合は、この限りではありません。　□休診日／土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始

TEL.025-265-3171（代表）へお電話いただくと、自動音声でご案内しております。

交通のご案内

【バス】 **A.有明線**
「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分
B.坂井輪コミュニティバス
「国立西新潟中央病院前」下車徒歩約2分
C.西小針線（本数が多い）
「小針十字路」下車徒歩約10分

【 JR 】 越後線「小針駅」からタクシー3分

【 車 】 新潟バイパス「黒埼I.C.」から15分



epilogue

表紙の話：私たち、新入職員です。よろしくお願いいたします！

うららかな日が続いた今年の春。例年より早めに開花した桜の下に、フレッシュな顔ぶれが揃いました。
今年度入職したばかりの職員たちは、少し緊張しながらも、カメラの前に立つと素敵な笑顔を見せてくれました。
当院の新しい力となって活躍します。どうぞよろしくお願いいたします。



かれん　2023年6月 vol.09　*Care+Nishiniigata Chuo Hospital　2023 June*

〈発行人〉病院長 大平 徹郎　〈編集人〉深井 和久　服部 真一　髙橋 篤史